

動物ふぁいる No.71
生き物ずかん平川動物公園
ホッキョクグマ

【平川動物公園 ☎261-2326 FAX261-2328】



今年の3月、和歌山県のアドベンチャーワールドから雄のホッキョクグマ「ライト」が当園にやってきました。ホッキョクグマの飼育展示は実に2年半ぶりです。水中へ飛び込んだり、飼育員が用意したおもちゃのブイで遊んだり、さまざまな姿を見せてくれています。

真っ白な毛に覆われた姿から「シロクマ」とも呼ばれ、当園でも人気者ですが、絶滅危惧種に指定されているという背景もあります。主な原因として、地球温暖化により生息地であるカナダなどの北極圏の氷が溶け、獲物となる陸地のアザラシを捕まえることができず、厳しい寒さに耐えるための十分な脂肪分が蓄えられないことなどが挙げられます。当園で過ごすライトを見て、野生のホッキョクグマの現状にも関心を持っていただけたらうれしいです。

学芸員オススメ! No.89
市立美術館の逸品

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

いわや さざなみ
巖谷小波
よせがきらわん
『寄書茶碗』

旅立つ友へ思いを寄せて



この作品は、児童文学の世界で活躍した巖谷小波が、小学校からの友人である黒田清輝(日本近代洋画の発展に貢献した鹿児島出身の画家)の1900(明治33)年の渡欧に際し、黒田への思いを寄せたものです。

寄せ書きといえば色紙などに書いて贈られますが、これは幼なじみである2人が窯元で一緒に制作したものと思われる。茶碗の外側には「黒田君と別れる時、私は横浜埠頭で君(黒田)の旅の出発の様子を描いて記念とする」という内容の文字と汽船の絵が描かれ、内側には巖谷の句とサインが記されています。お茶を飲み干したときに現れる底の部分には、旅立つ黒田の後ろ姿が描かれており、巖谷の遊び心が感じられます。

※7月23日(日)まで開催する小企画展「みなもをめぐる一水の表現を味わう」で展示しています

かごしまフォロワー
かごフォロM4210 代表・パタンナー
四元 麻理 さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



パタンナーをしながら本市オリジナルアイテムの制作や、洋服の商品開発など、幅広く活躍する四元さんにお話を伺いました。

パタンナーとは、洋服のデザイン画を基に、生地や縫製工程などを考慮して型紙を作成する職業のことをいい、洋服の仕上がりはパタンナーの技術が“要”ともいわれます。小さい頃からおしゃれ好きなこともあり、高校では本格的に服飾について学び、デザイナーを目指し専門学校に進学しましたが、服飾全般を学ぶ過程で、デザイナーよりパタンナーとしての手応えを感じたことから、その道を目指し始め今に至ります。

何度も修正を重ね型紙を仕上げていく過程を経て、実際の洋服となり、お客様の手に届いた時の笑顔は本当にうれしく感じます。独立後は、知人の勧めで雑貨も作り始め、“南風扇”はかごしまの新特産品コンクールで鹿児島市長賞を受賞することができました。

アパレルで製品企画を目指す人は県外にしか仕事がないと思いがちですが、今は通信環境も発達し場所を問わず活動できます。今後は、ファッションや服飾を学ぶ人たちが知識や技術を習得できる場所づくりや、次の世代を担う人たちに地元鹿児島でも好きな仕事で輝けることを伝えていきたいです。(インタビューの詳細は広報課Instagram「カゴシマファン」などでチェックを)



南風扇(HAESEN)

ひろばサポーターがゆく 指定避難所(たてばば福祉館)

【地域福祉課 ☎216-1244 FAX223-3413】

“もしも”の災害に備えて日頃から準備を

本格的な台風シーズンを前に、避難所として指定されている「たてばば福祉館(下竜尾町)」を訪ねました。建物の前にある看板や、入り口のハザードマップから、この避難所は洪水や土砂災害、地震いづれの

ひろばサポーター
松下

場合にも利用できる場所だと分かります。去年の台風14号が接近した時は約30人が避難所として利用されたそうです。

今回、避難所にはどんな物が備えてあるのかを見せていただきましたが、気付いたのは、台風や大雨といった一時的な避難のために避難所を利用する時は、水や食料、毛布などの寝具は自ら持参しなければならないこと!災害によっては、すぐには家に帰れないこともあるため、約3日分の水や食料を持参すると安心とのことでした。普段から服用している薬がある人は、特にお気を付けください。ペットを飼って



いる人は、ペットも連れて避難できるそうです。

避難所として指定されている建物は各地域にあります。必ず近くの避難所を利用しないといけないわけではありません。状況によっては家にとどまる方が安全なこともあります。そのため、近くにある避難所がどの災害に対応しているか、避難所に向かう安全なルートは確保できるかなどを各家庭で事前にチェックしておきましょう。



市避難所一覧